

平成 29 年度 関東信越地区高等専門学校体育大会陸上競技
兼 第 54 回 関東信越地区高等専門学校陸上競技対校選手権大会
兼 第 52 回 全国高等専門学校体育大会陸上競技予選会 実施要項

1. 主 催 関東信越地区高等専門学校体育協会、一般財団法人群馬陸上競技協会
2. 主 管 関東信越地区高等専門学校体育協会陸上競技専門部、前橋市陸上競技協会
3. 開 催 校 群馬工業高等専門学校
4. 日 時 平成 29 年 7 月 8 日 (土) 開 会 式 12 時 30 分、 競技開始 13 時 00 分
7 月 9 日 (日) 競技開始 10 時 00 分、 閉 会 式 競技終了後(15 時頃の予定)
5. 場 所 正田醤油スタジアム群馬 (群馬県立敷島公園陸上競技場)
(〒371-0036 群馬県前橋市敷島町 66 番地 連絡先電話番号 : 027-234-9338)
6. 競技種目 (男子) 17 種目
100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、110mH、400mH、3000mSC、4×100mR、4×400mR、
走高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(6.0kg)、円盤投(1.75kg)、やり投
(女子) 11 種目
100m、200m、800m、3000m、100mH、4×100mR、走高跳、走幅跳、砲丸投(4.0kg)、
円盤投(1.0kg)、やり投
7. 参加資格 2017 年度日本陸上競技連盟登録者に限る。
8. 競技規則 2017 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせによる。
9. 参加制限 監督 1 名、コーチ 1 名、マネージャー 1 名、選手は各校 1 種目 2 名以内 (リレーは除く) とし、リレーは 1 校 1 チーム (6 名以内) とする。また、男子は 1 人 2 種目以内 (リレーは除く)、女子は競技注意事項に詳細を定める。
10. 競技方法 (1) 学校対抗とする。男子及び女子それぞれの合計得点により順位を決定する。
(2) 得点は 1 位 8 点、2 位 7 点、3 位 6 点、4 位 5 点、5 位 4 点、6 位 3 点、7 位 2 点、8 位 1 点とする。同順位が複数 (n) 生じた場合は順位点の合計を (n) で除した得点とする。
(3) 最多得点校を優勝校とし、同点の場合の順位は、上位入賞種目の多い学校を上位とする。これで決しない場合、4×400mR の上位校とする。
11. 全国大会出場条件 競技注意事項 (申し合わせ事項) のとおりとする。
12. 表 彰 (1) 総合 1 位に優勝トロフィーを、1 位から 3 位に賞状を授与する。
(2) 各種目 3 位までの入賞者に賞状を授与する。
(3) 表彰は決勝終了後直ちに行う。
13. ナンバーカード 各校、縦 18～20cm×横 22～24cm のナンバーカード (男子は白地に黒字、女子は白地に赤字) を作成する。各校のナンバーカード番号は次のとおりとし、男女通し番号とする。
写真判定用腰ナンバー標識は、開催校が用意する。
群 馬 : 1 0 1 ~ 1 4 9 長 岡 : 1 5 1 ~ 1 9 9 長 野 : 2 0 1 ~ 2 4 9
茨 城 : 2 5 1 ~ 2 9 9 小 山 : 3 0 1 ~ 3 4 9 東 京 : 3 5 1 ~ 3 9 9
木 更 津 : 4 0 1 ~ 4 4 9 産 技 品 川 : 5 0 1 ~ 5 4 9 産 技 荒 川 : 5 5 1 ~ 5 9 9
サレジオ : 6 0 1 ~ 6 4 9

14．監督会議 平成 29 年 7 月 8 日（土）11 時 30 分から正田醤油スタジアム群馬（群馬県立敷島公園陸上競技場）
内会議室にて行う。

競技注意事項（申し合わせ事項）

1．競技について

- 1) 本競技会は、2017 年度日本陸上競技連盟規則及び本大会の申し合わせ事項によって行う。
- 2) 本陸上競技場は、全天候型陸上競技場のため、9mm 以下の全天候型用のスパイクピンを使用すること。
ただし、走高跳とやり投については 12mm 以下とする。
- 3) トラック競技で予選の必要がなくなった場合、予選は実施しない。競技は原則として決勝の開始時刻に行う。
- 4) 競技に使用する用器具は、すべて競技場備え付けの物を使用すること。
- 5) 男子 5000m 及び 3000mSC では、気象状況に応じて、バックストレート側に給水を用意する。
- 6) 男子走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。ただし、女子走高跳については監督会議において決定する。
練習 1.55m 競技開始 1.60m、1.65m、1.70m、1.75m、1.80m、1.85m、以降 3cm ずつ、順位決定は 2cm ずつとする。
- 7) 三段跳びについて、競技者のレベルに合わせるため、踏切板は、9m と 11m を用意する。コールされた後、自己申告して試技に入る。

2．オープン種目及びオープン出場について

男子 3 種目（100m、200m、1500m）のオープン種目を実施する。また、女子 4×100mR においては他高専との混成チームでのオープン出場を認める。さらに、男女専攻科生のオープン出場（リレーを除く全種目）を認める。ただし、オープン出場者については、対校得点に含めないものとする。

3．女子の対校種目・得点等について

- 1) 対校種目は、開催全種目（11 種目）を対象とする。対校得点については、実施要項 10. 競技方法に従う。
- 2) 1 種目に出場できる人数は原則 2 名までとする。100m、800m、走幅跳、砲丸投以外の種目において、3 名を超えて出場する場合、3 人目からはオープン出場扱いとする。また、その際、オープン出場扱いとなる選手を明記すること。
- 3) 出場できる種目数は、リレーを除き、原則として 1 人 3 種目以内（100m、800m、走幅跳、砲丸投については、いずれか 2 種目以内）とする。3 種目を超えて出場する場合、その種目はオープン出場扱いとする。その際、オープン出場扱いとなる種目を明記すること。
- 4) 対校得点の対象は 1 種目 2 名、1 人 3 種目まで（ただしリレーは除く）とする。

4．招集について

- 1) 招集はプログラム記載の招集時間に行う。点呼を受け、ナンバーカードを見せる。出場しない者は競技者係に申し出ること。
- 2) 競技者が、同時にトラック競技とフィールド競技或いは 2 種目のフィールド競技に出場する場合は、最初の種目の招集時に「同時出場届」を競技者係に提出して確認してもらう（この際に、2 種目目の招集は完了となる）。本人は、フィールド競技場所を離れる際には、フィールド審判員に申し出てトラック競技を優先させること。
- 3) 招集を完了していない者はその競技に出場できない。
- 4) 招集所は競技場スタンド北側（100m スタート地点後方）器具庫横に設ける。
- 5) 招集所から競技場所への誘導は係員の指示に従う。

5．リレーについて

- 1) リレーのオーダーは、予選・決勝とも所定の用紙（1 部）に記入し、招集開始時刻の 60 分前までに招集所に提出する。
- 2) 出場メンバーは、同一のユニフォームを着用すること。
- 3) リレー競技の各走者のダッシュマークテープは、各チームで用意する。なお、マークテープの撤去については、競技終了後に各チームの責任で確実にを行う。

6．練習について

練習は、練習場使用日程表に沿って行うこと。審判員もしくは顧問教員の指導の下で、安全に行うこと。

7. 表彰について

表彰は、男女各種目（オープン種目を除く）3位まで行う。該当者(代理可)は競技終了後直ちに控室に集合すること。

8. 参加申し込みは、以下の様式を6月9日（金）までに提出する。

1) 書面による提出：「参加申込一覧」(様式1)(様式2)

「参加者数調べ」(別紙1)

「参加料送金内訳書」(別紙2)

○ 送付先

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町 580 番地
群馬工業高等専門学校 学生課学生支援係
TEL：027-254-9058
FAX：027-254-9080

2) 電子データによる提出：「H29entryform.xls」

○ 送信先 g-sien@jim.gunma-ct.ac.jp

(担当窓口は書面による提出と同じ)

9. 全国高専大会出場権について

(1) 個人種目に関して、男子種目(400mH、3000mSC、棒高跳、リレーを除く)は全国大会の開催地区枠も含めて上位4名が、女子種目は上位2名が全国大会の出場権を得る。

(2) 男子4×100mRと4×400mRについては、平成29年度大会においては全国大会開催校(長野高専)及び開催校を除く上位2チームが出場権を得る。また、これ以外のチームの中で有効期間内における公認記録の全国ランキング上位7チームも出場権を得る。

(3) 女子4×100mRは他高専との混成チームも可能とし、出場チーム数は制限しない。

(4) 次の種目については参加標準記録を突破した者がエントリー可能となる。

ただし、出場者は以下のような選出方法によって全国大会開催校が決定する。

【男子】400mH 24名：59秒00、3000mSC 20名：10分30秒00、棒高跳 24名：3m50

【女子】200m：29秒00、3000m：12分00秒00、100mH：19秒00、4×100mR：56秒00、走高跳：1m35、
円盤投：23m00、やり投：25m00

女子は各種目上位16名とする。

(5) 公認記録の有効期間について、リレー種目はその年度の4月1日以降最終の地区大会終了日までとし、これ以外の種目については前年の1月1日からその年度最終の地区大会終了日までとする。

(6) 参加標準記録及びランキングによる出場者(チーム)については、全国大会開催校がこれを決定する。

10. 個人情報と肖像権の取り扱いについて

主催者は、個人情報に関する法令を遵守し、個人情報保護方針に基づき取り扱う。

なお、取得した個人情報と大会の模様の写真等は、大会資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、認められたホームページでの公開、その他競技運営及び連絡等に利用する。大会参加者で、ホームページや報道等に競技中の結果や写真等を公表してほしくない者は、学校を通して事前に総務(群馬高専 佐藤)まで申し出ること。

11. その他

1) 出場する競技者・補助員以外は競技場内に立ち入らないこと。

2) ビデオ装置、ラジオ、携帯電話、その他の通信機器、ヘッドフォン等は競技場内に持ち込んではいけない。

3) 競技場に商品名のついた衣類やバックを持ち込む場合は、日本陸上競技連盟の規定に従うこと。競技役員から指摘を受けた場合は、その指示に従うこと。バック類のロゴは2ヶ所までとし、各面積は25cm²以内と規定されている。

- 4) 大会中に発生した傷害事故等については、開催校で応急手当を行うが、その後の処置については一切責任を負わない。よって、選手は健康保険証を持参すること。
- 5) 正面スタンドでのテント設営及び横断幕・のぼり等の掲示は禁止とする。バックスタンド下段のフェンスにも掲示しない。後方は可。その他の場所での制限は特にないが、競技進行、観客の支障にならないよう配慮すること。競技役員から指摘を受けた場合は、その指示に従うこと。
- 6) 競技結果等は、競技場入り口付近（西側）の壁に掲示発表する。雨天の場合は、玄関南側自動販売機前とする。
- 7) カメラ、ビデオ等による競技の撮影は、盗撮防止の観点から許可制とする。